

朝晩、ずいぶん寒くなりました。日中は陽射しの明るさと暖かさに体も伸びやかですが、夕方になると一枚、羽織らないと寒くておられません。気が付けば今年のカレンダーもあと2枚を残すのみ。「早いね～」と毎年そう言いながらミシン目をちぎっています。さて、10月から天理教さんの厨房、それに続くお部屋をお借りして“キッチン・ゆんたく”を開催しています。調理がとてはかどって大助かりです。それと、会食する男の子たちが登場して従来の“キッチン・ゆんたく”の姿が戻ってきそうです。食べ盛りの男子ですから「おかわり」の声も出てきて、活気があります。「美味しかった」「また、来月来ます」と行儀よく挨拶してくれました。コロナの前に来ていた時は小学2年か3年だったのがもう5年生、6年生になっているのですから早いですね。長かったコロナ禍ですね。今月もカレーですが、心を込めて作りますね～おかわりOKだよ～(^^)U~~  
 当分の間“キッチン・ゆんたく”はカレーでいきますが、子どもたちの会食が進んでいくとリクエストメニューになるかもしれません。そうなればいいですねえ♥ では、皆さま、11月16日にお待ちしています。m( )m

言葉の中に潜むギャップ：専門意識が起す言葉のギャップ 4回目

・・・このように略語は、同じ内容をより短く言い表すことで効率的に情報伝達を行うには好都合ですが、時に誤解や意味の取り違えを生み出すこともあります。ただ、略語なしではまどろっこしくなる現実もありますので必要に応じて意味を解説することで質のギャップを埋めていきましょう。○専門用語 ○カタカナ用語  
 ○略語 これらの3つの言葉の形態を多様化する心理には「自分は賢い・他人より上だ」「自分の得意な領域を理解してもらいたい」という気持ちや潜在しているともいわれます。「コミュニケーションを成立させるのは受けてである」と肝に銘じて相手に寄り添った丁寧な言葉選びをしたいものです。福祉関係の様々なあいさつや文書などの冒頭に「枕ことば」のようによく使われる言葉があります。例えば、「少子高齢化」「地域共生社会」「自立支援」「多職種連携」などなど。しかしながら、これらの言葉の捉え方や意味合いは、私たちの間でどれくらい共有されているのでしょうか。次号へ・・・続きます。



ゆんたくホームのゆんたくさびら

(おしゃべりしましょう)

肌寒い日が多くなり、子どもたちからも「寒い～」という声を聞くことが多くなりました。

先日、Aちゃんは高校のオープンキャンパスに出かけました。出発前は緊張していましたが、帰宅後は「楽しかった！」ととてもよい表情をしていました(^\_^) 少しずつ高校のイメージがついてきたようです！受験に向けて一緒に頑張りたいですね！

そして、Bちゃんは学校の授業参観がありました。ホームでの様子とはまた少し違ったBちゃんの姿が見られました。たくましくてなんだか嬉しく感じました!(^\_^)!



なんくるはなんくるないさ～

(なんとかなるよ！)

気温の変化が大きいからか、10月は少し体調を崩した子もいました。しかし、すぐに回復し、なんくるは元気いっぱい毎日過ごしています。

学校とアルバイトの両立はとても大変なことですが、これからのために子どもたちは一生懸命に取り組んでいます。お給料が入ると、「今月はちょっと少なかったな…」と振り返る様子もみられます。そうやって、自分で考えて、将来のために取り組んでいく姿はとても素敵です(^^)

スタッフも精一杯サポートをしていきたいと思っています。



らいげつ  
来月のキッチンゆんたくのご案内  
2022年

12月21日（第3水曜日）開催  
よてい  
予定メニュー

- ・ゆんたくカレー
- ・サラダ（パスタ）



お知らせ

毎月第三水曜に開催中の、  
キッチンゆんたくをお手伝いして下さる  
ボランティアの方を募集しています！！  
興味がある方はゆんたくへ連絡をお願いします！  
（TEL：075-383-0926）



11月のキッチンゆんたく

メニュー♪

- ・ゆんたくカレー
- ・サラダ（パスタ）

夕方5時～なくなり次第終了

りようりょう むりょう うけつけ ぼきんぼこ  
利用料：無料 受付に募金箱を設置しています  
（ご協力よろしくお願ひいたします。）

かんせんたいさく りゅうい かいしょく  
感染対策に留意して会食とテイクアウト  
りようほう かいさい  
の両方で開催します！

しだいしゅうりょう はや  
なくなり次第終了です。早めにきてね♪

くろま らいじょう  
※※お車での来場はできません※※  
とほ じてんしゃ こ  
徒歩・自転車でお越しください

**Thankful**

きんりん かいしゃ さま きんいっふう いただ  
近隣の会社K様より金一封を頂きました。フードバンク京都様、京都フードセンター様からはそれ  
しよくざい  
ぞれ食材や食品、お菓子、飲み物を頂きました。  
みなさま  
皆様、ありがとうございました！

Thanks



紙芝居・絵本紹介

『11匹きのねこ』

馬場のぼる：作、絵

ゆん・なんの C ちゃん、以前、思い出絵本は「ない！」と言っていたのですが、「いつも見てるんや  
で」と掲示してあるゆん・なんレターを読みながら「あっ!!思い出した。“11匹きのねこ”先生に読んで貰  
って、おもしろかったんや」と今回紹介してくれました。とらねこ大将と 10 匹きの仲間の愉快な冒険  
ものがたり  
物語です。

<あらすじ>

あるところにとらねこ大将と、ほか 10 匹、あわせて 11 匹のらねこがいました。11 匹はいつもお腹がす  
いていました。ある時、見つけた一匹の魚を 11 等分していると、年取ったねこがやってきて、「大きな魚が  
たべたいか」と言い、山の向こうの広い湖にいる怪物みたいな魚の存在を教えてくださいました。11 匹のねこ  
は湖に出かけました。到着すると、イカダを作り、数日、大きな魚を探しました。ある日、突然大きな魚  
が飛び出し、11 匹のねこは飛び掛かりましたが、歯が立ちません。大きな魚がお日様の下で水から顔を出し  
て、“ねんねこさっしやれ”を歌っているところにとびかかってもダメでした。ある晩、大きな魚が島の上  
で寝ているのを見つけ、11 匹のねこが取り囲んで♪ねんねこさっしやれ♪を歌うと、いびきをかいて眠りま  
した。そこへ飛び掛かると、捕まえることができました。11 匹のねこは「みんながこれを見たら驚くぞ」  
「早く帰ってみせてやろう」と言い、「それまでは絶対に食べないこと」と言い、「さんせーい」とよだれが  
出るのを我慢しました。・・・次の晩、暗闇になり、夜が明けると…魚は骨だけ！・・・11 匹のねこは、み  
んなお腹が膨れていました。

ユーモアたっぷり!!思いがけない結末に、A ちゃんも笑顔いっぱいになったのかな・・・

